

黒田小学校外壁改修工事

設計図

仕様書

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所

福岡県京都郡みやこ町勝山黒田825-1番地（黒田小学校）

2. 敷地面積

3. 工事種目

・外壁改修工事

※ 今回の外壁改修工事について

既設建物の外壁塗材(セメント系下地調整塗材層)に7ｽﾍﾟｽﾄ成分が含まれている為、劣化部補修工事(携帯型水循環式吸引電動ｽﾀﾝﾀﾞｰｸﾚﾝ工法)を行うものとする。

尚、この工事を行う時は、石綿作業主任者を配置し必要届出等を行うこと。(外壁改修特記仕様書 参照)

4. 工事範囲

工事項目				
工事項目				
② 仮設工事				
① 防水改修工事				
① 外壁改修工事				
4-1 コンクリート打ち直し仕上げ				
外壁改修工事				
4-2 鉄筋塗り仕上げ				
外壁改修工事				
4-3 鉄筋塗り仕上げ				
外壁改修工事				
4-4 塗り仕上げ				
5 建具改修工事				
6 内装改修工事				
7 塗装改修工事				
8 設置改修以外の躯体改修工事				
8-1 耐震改修工事				
8-2				
9 環境配慮改修工事				
10 その他				

Ⅱ 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下「改修標準」という。))による。

ただし、改修標準に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準」という。))による。

(2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事および機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書(最新版)を適用する。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の「改.」内の表示番号は、改修標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の「標.」内の表示番号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。

③ 防水改修工事

各図示とする

1 7ｽﾌﾟﾙﾄ防水

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類
保護防水	・ P 1 B	・ B - 1 ※ B - 2
	・ P 1 B I	・ B I - 1 ※ B I - 2
	・ P 2 A I	・ A I - 1 ※ A I - 2
	・ P 2 A	・ A - 1 ※ A - 2
露出防水	・ M 4 C	・ C - 1 ※ C - 2
	・ M 3 D ・ P O D	・ D - 1 ※ D - 2
屋内防水	・ P 1 E ・ P 2 E	・ E - 1 ※ E - 2 (保護層は図示による)

7ｽﾌﾟﾙﾄの種類 ※ 3 種 ・ 4 種
保護ｺﾝｸﾘｰﾄのｺﾝｸﾘｰﾄ種類 ※無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ
P O D工法の二重ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ ※設けない ・ 設ける
M 3 D、P O D工法の脱気装置 ※設けない ・ 設ける
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M 4 C工法の場合) ・ 除去する
断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 ・
ただし、特定ﾌｵﾑを含まないもの。

立ち上り部の保護
・ れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾛｯｸとする。

・ 乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm
※保証期間 10年

2 改質7ｽﾌﾟﾙﾄｼｰﾄ防水

防水改修工法の種類 施工場所 新規防水層の種類 厚さ(mm)

・ M 4 A S工法 図示 ・ A S - T 1 ・ A S - T 2 ・ A S - J 2

・ M 3 A S工法 ・ A S - T 3 ・ A S - T 4 ・ A S - J 1

・ P O A S工法

脱気装置 ※設けない ・ 設ける
※保証期間 10年

3 合成高分子系

ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

防水改修工法の種類 施工場所 新規防水層の種類 仕上げ塗料等 使用分類

・ P O S工法 ・ S - F 1 ・ S - M 1 ・ ｶﾞｰ- ※非歩行

・ S 4 S工法 ・ S - F 2 ・ S - M 2 ・ ｼﾙﾊﾞｰ

・ S 3 S工法 ・ S - M 3

・ M 4 S工法 ・ S - M 1 ・ S - M 2 ・ S - M 3

脱気装置 ※設けない ・ 設ける
目地処理 P Cｺﾝｸﾘｰﾄの場合(※保証期間 7年

防水改修工法の種類 施工場所 新規防水層の種類 仕上げ塗料塗り

・ P O X工法 ・ X - 1、Zero-1H ・ ｼﾙﾊﾞｰ

・ L 4 X工法 ・ X - 2 ・ ｶﾞｰ-

既存塗料防水層表面の仕上げ塗装(L 4 X工法の場合) ・ 除去する。

脱気装置 ※設けない ・ 設ける (X - 1)
※保証期間 10年

種 類	材 質	設置数量	
・ 平面部脱気型	・ ｶﾞｰﾘｰﾌｨﾝ樹脂	・ ABS樹脂	・ 7ｽﾍﾟｽﾄｲｷｬｯﾄ (75)
	・ スﾌﾟﾗｽ	・ 鋳鉄	㎡当たり1箇所
・ 立ち上がり部脱気型	・ 合成ﾌﾛﾑ	・ 塩化ビﾆﾙ樹脂	()
	・ スﾌﾟﾗｽ	・ 銅	㎡当たり1箇所

シーリング 改修工法の種類
・ シーリング 充てん工法 ・ シーリング 再充てん工法
・ 拡張シーリング 再充てん工法 ・ フリッジ工法

シーリング 材の種類、施工箇所
※下表以外は、改修標準仕3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング 材の種類(記号)
外部建具廻り	PU-2
構造ｽﾌﾟﾗｯﾄ・打継目地	PU-2

との材質 ※配管用鋼管 ・ 硬質ｶﾞｰﾘｰ塩化ビﾆﾙ製100φｶﾞｰ- ・ スﾌﾟﾗｽ製100φ
鋼管製との防露 ※改修標準3.8.3による
・ 次の箇所は行わない()
掃除口 ※有り ・ 無し
縦とい受け金物の取付け ※図示 ・ 標準仕13.5.3(d)(2)による

8 アルミニウム製窓木

種 類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備 考	
・ 250形	2.2以上	※A-1又は	固定方法及び 間隔は品質 計画で定めた もの。	隅角部及び突当たり部等の役物は 本体製造所の仕様による。	
	・ 300形	2.5以上			B-1種
	・ 350形	3.0以上			・ B-2種
	・ 100形				()
・ 175形					

板材折曲げ形の取付工法 ※改修標準3.9.3(b)の(1)～(5)による
・ 図示

形 式	※重ね形	・ はげ締め形	・ かん合形
形状(mm)	山高(150)	山ﾋﾞｯﾁ(500)	板厚※0.6・0.8
材料 (規格等)	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (C G L C C R - 2 0 - A Z 1 5 0)		
軒先面戸板	※有り	・ 無し	
断熱材	※有り(種別:	厚さ: mm)	・ 無し
耐火性能	※30分耐火	・ 無し	

9 折板葺

形 式	※重ね形	・ はげ締め形	・ かん合形
形状(mm)	山高(150)	山ﾋﾞｯﾁ(500)	板厚※0.6・0.8
材料 (規格等)	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (C G L C C R - 2 0 - A Z 1 5 0)		
軒先面戸板	※有り	・ 無し	
断熱材	※有り(種別:	厚さ: mm)	・ 無し
耐火性能	※30分耐火	・ 無し	

④ 防水改修工事

各図示とする

1 足場その他

内部足場 種別 ※脚立、足場板等
外部足場 手すり先行工法
種別 ※枠組み足場 ○くさじ繫結式足場 ・ 単管足場 ・ 仮設ゴンドラ ・ 移動式足場
防護ｼｰﾄによる養生 ※行わない ○行う
材料、撤去材等の運搬 ・ A 種 ※B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種

既存部分の養生 ※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等 ・ ペニヤ合板 ()
固定家具等の移動 ※行わない
既存家具等の養生 ※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等 ・

仮設間仕切り等の種別

種 別	下 地	仕上材(厚さ mm)	充てん材	塗 装
・ A 種	※軽量鉄骨	・ 合成(※9.0)		※無し
	・ B 種	・ 木下地 ※せつこうｽﾍﾞｰﾄﾞ(※9.5)		
※C 種	単管下地	防炎ｼｰﾄ		
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し
	・ 鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・ 有り

① 完成図等

○完成図
・ 既存図面修正 ・ 別紙「竣工時提出書類等一覧」による
※作成する
○保全に関する資料
完成図の原図サイズ・種類 提出部数
○A 1 サイズ 二つ折り製本 ・ 3部 ○2部 ・ 1部
○A 3 サイズ 二つ折り製本 ・ 3部 ○2部 ・ 1部
○C D - R ・ 3部 ○2部 ・ 1部

種類 ※改修標準表1.8.1による
ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

※図示 ・ 設計 G L = 現況 G L

① 完成図等

○完成図
・ 既存図面修正 ・ 別紙「竣工時提出書類等一覧」による
※作成する
○保全に関する資料
完成図の原図サイズ・種類 提出部数
○A 1 サイズ 二つ折り製本 ・ 3部 ○2部 ・ 1部
○A 3 サイズ 二つ折り製本 ・ 3部 ○2部 ・ 1部
○C D - R ・ 3部 ○2部 ・ 1部

種類 ※改修標準表1.8.1による
ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

※図示 ・ 設計 G L = 現況 G L

② 仮設工事

① 足場その他

内部足場 種別 ※脚立、足場板等
外部足場 手すり先行工法
種別 ※枠組み足場 ○くさじ繫結式足場 ・ 単管足場 ・ 仮設ゴンドラ ・ 移動式足場
防護ｼｰﾄによる養生 ※行わない ○行う
材料、撤去材等の運搬 ・ A 種 ※B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種

既存部分の養生 ※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等 ・ ペニヤ合板 ()
固定家具等の移動 ※行わない
既存家具等の養生 ※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等 ・

仮設間仕切り等の種別

種 別	下 地	仕上材(厚さ mm)	充てん材	塗 装
・ A 種	※軽量鉄骨	・ 合成(※9.0)		※無し
	・ B 種	・ 木下地 ※せつこうｽﾍﾞｰﾄﾞ(※9.5)		
※C 種	単管下地	防炎ｼｰﾄ		
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し
	・ 鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・ 有り

④ 監督職員事務所

・ 既存建物内の一部を使用する ・ 構内に設置する ・ 設けない ・ 町所有地に設置
・ 監督職員事務所に設ける備品等は現場説明書による
○現場事務所内に併用可

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (※有償 ・ 無償) 子メーター設置

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (※有償 ・ 無償) 子メーター設置

⑤ 工事用水

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (※有償 ・ 無償) 子メーター設置

⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (※有償 ・ 無償) 子メーター設置

7 化学物質の濃度測定

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度測定し、報告すること。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定 ※行わない ・ 行う
測定対象室
測定箇所数

④-1 外壁改修工事

外壁改修工事仕様書による

1 施工数量調査

調査範囲 ※躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ・ 図示の範囲
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部挙動の有無、漏水の有無及び
錆汁の流出の有無を調査する。
ｺﾝｸﾘｰﾄ表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
調査報告書の部数 ※2部 ・

※樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
※自動式低圧ﾋﾟｽﾄﾝ	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
樹脂注入工法			・	
・ 手動式ﾋﾟｽﾄﾝ	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・
注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・ 機械式ﾋﾟｽﾄﾝ	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・
注入工法			・	

注入材料
※建築補修用注入ﾋﾟｽﾄﾝ 樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形) | | | |

・

検査(ｽﾌﾟﾚｰ取リ) ※行わない
・ 行う (採取り部の補修方法:)

ｳｻｶｼｰﾙ材充てん工法

充てん材料	品質・規格等	備 考
・ シーリング 用材料	※1成形形又は2成形形 ｶﾞｰﾘｰﾌｨﾝｼｰﾘﾝｸﾞ 材	ｶﾞｰﾘｰﾍﾞﾝﾄﾞﾓﾙﾀﾙの充てん ※行わない ・ 行う
・ 可とう性ﾋﾟｽﾄﾝ	樹脂	

ｶﾞｰﾘｰﾍﾞﾝﾄﾞﾓﾙﾀﾙ、可とう性ﾋﾟｽﾄﾝ 樹脂 | 製造所 性能等の確認ができる資料を監督職員に提出する。 |

・ シｰﾙ工法

ｼｰﾙ材料	品質・規格等
・ ﾊﾞﾆｯﾄﾋﾟｽﾄﾝ	性能等の確認ができる資料を提出し監督職員の承認を受ける。
・ 可とう性ﾋﾟｽﾄﾝ	樹脂

3 欠損部改修工法

※充てん工法

充てん材料	品質・規格等
・ ｴﾍﾞ	性能等の確認ができる資料を提出し監督職員の承認を受ける。
・ ｶﾞｰﾘｰﾍﾞﾝﾄﾞﾓﾙﾀﾙ	

工事名

黒田小学校外壁改修工事

図面名

改修工事特記仕様書 (1)

図面番号

A - 1

SCALE

A 1 図 1/10SCALE
A 3 図 1/10SCALE

令和 6 年 2 月

株式会社

西島建築設計事務所

NISHIJIMA ARCHITECT OFFICE
福岡市中央区笹丘1丁目17-29
管理建築士 松川 基範
一級建築士 第 123791号